

第5学年国語科学習指導案

指導期間 平成15年9月5日～9月22日

指導学級 大船渡市立末崎小学校5年2組

男子16名 女子14名 計30名

授業者 金野 晋（長期研修生）

1 単元名 「体験したことを分かりやすく伝えよう」

教材名 わたしたちの学校生活（光村図書「国語5年（上）」）

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、児童の学校生活での体験を見つめ直し、他者に分かりやすく伝えるために二つの活動から構成されている。一つは書く活動であり、もう一つは書いたことを基にスピーチをする活動である。これらの活動をとおして、取材の方法や内容が伝わるように文章にまとめるための方法、聞き手を意識して分かりやすく話すための工夫などを理解させることをねらいとしている。4年生に向けての「5年生の活動報告会」を学習活動のゴールとしていることから、具体的な相手及び目的意識をもって学習することができる教材である。

(2) 児童について

児童はこれまでに「書くこと」について、調べたことを項目ごとにカードに書く学習を体験している。本単元ではこれを生かし、カードを使って伝えたことが読み手によく分かるような組み立てを考えさせたい。「話すこと・聞くこと」については、学級内の友達との話し合いの活動が中心であった。スピーチについては第4学年で学習を行ってはいるが、相手や目的に応じて話の構成や表現を工夫することについては十分とは言えない。そこで、既習事項を確認させながら、異学年の児童を対象としてスピーチを行うことでの配慮が必要である。

(3) 指導について

書く活動においては、カードを用い、多くのカードの中から必要なものだけを選び、伝える順序に従って並びかえをさせる活動をとおして、取材や構成の能力を培っていきたい。スピーチの活動においては、常に目的、相手、内容、場を十分に意識させ、「スピーチステップアップカード」を用いて児童自身の学習状況を把握させながら取組を行わせたい。

3 単元の目標

◎学校生活で体験したことを分かりやすく書いて、相手に伝える。

◎書いたことを基に、相手や目的を考えてスピーチをする。

(1) 国語への関心・意欲・態度

・相手や目的を考えて、体験したことを分かりやすく伝えようとしている。

(2) 書くこと

- ・書く目的や意図に応じて、書く事柄を整理し、自分の考えを効果的に書くことができる。
- ・考えを明確にするために、事実や意見、感想などを区別し、組み立てを工夫することができる。
- ・相手や目的に応じて、表現を工夫したり確かめたりすることができる。

(3) 話すこと・聞くこと

・考えたことや意図が分かるように目的に応じて適切な話し方を工夫することができる。

(4) 言語事項

・文や文章にはいろいろな構成があることを理解することができる。

4 単元の指導計画（全16時間）

(1) 第1次 伝えたいことを考え、学習の見通しをもつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

- (2) 第2次 伝えたいことを整理し、構成を工夫して作文を書く・・・・・・・・・・6時間
- (3) 第3次 「5年生の活動報告会」に向けてスピーチ原稿を作り、練習をする・・・・6時間
- (4) 第4次 「5年生の活動報告会」を行い、単元の学習を振り返る・・・・・・・・・・3時間

5 本時の指導

<第1～2時>

- (1) 目標 「スピーチステップアップカード」でスピーチのめあてをもつことができる
- (2) 展開

階	学 習 活 動	支援及び指導上の留意点	ルーブリック
導 入 7 分	1 教材文を読み、「5年生の活動報告会」について確認する 2 学習課題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">スピーチのめあてをもとう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識、相手意識を高めさせる 	
展 75 分	3 パフォーマンステスト①を行う 4 パフォーマンステスト①で気を付けたことについて発表する 5 「スピーチステップアップカード」の概要について知る 6 範例CDを聞く 7 「児童用ルーブリック」でパフォーマンステスト①の自己評価をする 8 「5年生の活動報告会」(パフォーマンステスト②)のスピーチのテーマと条件について知る	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンステスト①の目的について説明し、意欲をもたせる ・ビデオ記録を行い、教師用ルーブリックで評価を行う。評価結果は「スピーチステップアップカード」へ児童のめあてとパフォーマンステスト①の自己評価結果を踏まえコメントとレベル記入で知らせる ・発表されたものを類型化し、評価項目に結び付ける ・「スピーチステップアップカード」のねらいと具体的な活動内容について知らせる ・評価項目による視点で範例CDを聞くようにさせる ・評価項目の内容とレベルを説明しながら自己評価をさせる 	<p style="text-align: center;">ルーブリックの 評価項目</p> <p>【話材の選択】</p> <p>【語句の用い方】</p> <p>【文の構成の仕方】</p> <p>【文章の構成の仕方】</p> <p>【言葉遣い】</p> <p>【話し方】</p>
終 末 8 分	8 本単元でのスピーチのめあてを書く 9 次時の学習内容を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を踏まえ、具体的に評価項目を挙げさせながら「ふりかえりコーナー」に記入させる 	

- (3) 評価 「スピーチステップアップカード」でスピーチのめあてをもつことができたか

<第3時>

- (1) 目標 「話材の選択」「文章の構成の仕方」に気を付けて構想メモを作ることができる
 (2) 展開

階	学 習 活 動	支援及び指導上の留意点	ル ー プ リ ッ ク
導 入	1 学習課題をつかむ		
	「話材の選び方」「文章の組立て方」に気を付けて構想メモを作ろう		
7 分	2 「話材の選び方」「文章の組立て方」についてめあてをもつ	・パフォーマンステスト①の自己評価結果を参考にめあてをもたせる	
展 開	3 めあてに基づいて話材を選ぶ ・作文を読み返し、伝えたいことを確認し、話材を書き出す	<p style="text-align: center;">【話材の選択】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <レベル1及び2> 構想メモで伝えたいことと話材の関係をとらえさせる </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <レベル3> 見たことや聞いたこと、資料などの体験以外の話材についても考えさせる </div> <p style="text-align: center;">【文章の構成の仕方】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <レベル1及び2> 構想メモを初め、中、終わりの構成で考えさせ、一つの段落に一つの内容になるように指示を与えるとともに、ステップアップお助けカードで文章の組み立て方の例示を行う </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <レベル3> 文章の組み立て方の例を示し、資料や例示も活用をさせる </div>	<p style="text-align: center;">【話材の選択】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <レベル3> 考えたことと話材の関係をとらえて構想メモを書いたり、話したりしている </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <レベル4> 考えたことを伝えるために体験したことだけでなく、見たり聞いたりしたことも話材にして構想メモを書いたり、話したりしている </div> <p style="text-align: center;">【文章の構成の仕方】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <レベル3> 初め、中、終わりの構成などで事実と感想、考えを区別し、話の中心がはっきりしている </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <レベル4> 初め、中、終わりの構成などで事実と感想、考えの組立てを工夫している。また、資料や例示を活用している </div>
	4 めあてに基づいて選んだ話材の構成を考える ・範例CDを聞き構成の仕方を考える ・構想メモに構成を考えて話材を書く		
28 分			
終 末	5 めあての振り返りを行う	・「児童用ルーブリック」で自己評価をさせるとともに、次の学習で気を付けたいことを書かせる	
	6 次時の学習内容を知る		
10 分			

- (3) 評価 「話材の選択」「文章の構成の仕方」に気を付けて構想メモを作ることができたか

<第4時>

- (1) 目標 「語句の使い方」「文の構成の仕方」に気を付けてスピーチ原稿を作ることができる
 (2) 展開

階	学 習 活 動	支援及び指導上の留意点	ル ー プ リ ッ ク
導 入	1 学習課題をつかむ		
	「言葉の使い方」「文の組立て方」に気を付けてスピーチ原こうを作ろう		
7 分	2 「言葉の使い方」「文の組立て方」についてめあてをもつ	・パフォーマンステスト①の自己評価結果を参考にめあてをもたせる	
展 開	3 例示のスピーチ原稿及び教材文を読み、参考にする ・例示スピーチ原稿のよいところを学び合う ・教材文でスピーチ原稿を書く時のポイントを確認する	<p style="text-align: center;">【語句の使い方】</p> <p style="text-align: center;"><レベル1及び2> 原稿を書く際は既習漢字を使わせ、誤字・脱字がないかチェックリストで確認させる</p> <p style="text-align: center;"><レベル3> 聞き手に自分の考えをよりよく伝えられる語句、誤解のない語句を考えさせる</p>	<p style="text-align: center;">【語句の使い方】</p> <p style="text-align: center;"><レベル3> スピーチメモや原稿をほぼ既習漢字を用い、語句の間違いがほとんどない</p> <p style="text-align: center;"><レベル4> 語彙数が多く語句の文脈上での意味を考えて用いたり、誤解されない語句（同音異義語など）を用いないようにしている</p>
	4 めあてに基づいてスピーチ原稿を作る	<p style="text-align: center;">【文の構成の仕方】</p> <p style="text-align: center;"><レベル1及び2> 主述の関係に気を付けさせ、修飾語や接続語を用いて文を詳しく書かせる。また、文を長く書く練習をする。</p> <p style="text-align: center;"><レベル3> ステップアップお助けカードで、意図的な簡潔な表現や不整表現（省略、倒置、繰り返し）を例示する</p>	<p style="text-align: center;">【文の構成の仕方】</p> <p style="text-align: center;"><レベル3> 接続語や指示語を正しく用い、文の中での語句の係り方や照応を考えて複数のパターンでの文の構成を用いている</p> <p style="text-align: center;"><レベル4> 意図的な簡潔な表現や不整表現（省略、倒置、繰り返し）を用いている</p>
28 分			
終 末	5 めあての振り返りを行う	・チェックリストを活用させる ・「児童用ルーブリック」で自己評価をさせるとともに、次の学習で気を付けたいことを書かせる	
10 分	6 次時の学習内容を知る		

- (3) 評価 「語句の使い方」「文の構成の仕方」に気を付けてスピーチ原稿を作ることができたか

<第5時>

(1) 目標 「言葉遣い」「文章の構成の仕方」に気を付けてスピーチ原稿を見直し、スピーチメモを作ることができる

(2) 展開

階	学 習 活 動	支援及び指導上の留意点	ルーブリック
導 入 7 分	1 学習課題をつかむ		
	「言葉づかい」「文章の組立て方」に気をつけてスピーチ原稿を見直し、スピーチメモを作ろう		
	2 「言葉づかい」「文章の組立て方」についてめあてをもつ	・パフォーマンステスト①の自己評価結果を参考にめあてをもたせる	
展 開 28 分	3 めあてに基づき、スピーチ原稿を見直す ・「言葉づかい」「文章の組立て方」をチェックする ・ペアでスピーチ原稿を読み合い、「言葉遣い」「文章の組立て方」をチェックする ・チェック項目と発表時間を考えてスピーチ原稿を修正する	<p style="text-align: center;">【言葉遣い】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <レベル1及び2> 日常の話し言葉や方言を使っていないかをペア練習でチェックさせる </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <レベル3> 敬語が必要な場合は個別に指導を行う </div> <p style="text-align: center;">【文章の構成の仕方】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <レベル1及び2> 必要な場合は前時までのスピーチ原稿に修正ポイントを朱書きしておく </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <レベル3> 書き初めと結びの組立てを更に工夫できないか考えさせる </div>	<p style="text-align: center;">【言葉遣い】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <レベル3> 共通語で話し、必要に応じて敬語を用いている </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <レベル4> 共通語で正しく話し、必要に応じて敬語を正しく用いている </div> <p style="text-align: center;">【文章の構成の仕方】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <レベル3> 初め、中、終わりの構成などで事実と感想、考えを区別し、話の中心がはっきりしている </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <レベル4> 初め、中、終わりの構成などで事実と感想、考えの組立てを工夫している。また、資料や例示を活用している </div>
	4 スピーチメモを作る		
終 末 10 分	5 めあての振り返りを行う 6 次の学習内容を知る	・「児童用ルーブリック」で自己評価をさせるとともに、次の学習で気を付けたいことを書かせる	

(3) 評価 「言葉遣い」「文章の構成の仕方」に気を付けてスピーチ原稿を見直し、スピーチメモを作ることができたか

<第6時>

- (1) 目標 「言葉遣い」「話し方」に気を付けてスピーチ練習をすることができる
 (2) 展開

階	学 習 活 動	支援及び指導上の留意点	ル ー プ リ ッ ク
導 入 7 分	1 学習課題をつかむ		
	2 「話し方」についてめあてをもつ	・パフォーマンステスト①の自己評価結果を参考にめあてをもたせる	
展 開 28 分	3 範例CDやVTRを視聴しよい話し方について確認する 4 めあてに基づいてスピーチ練習を行う ・スピーチメモを見ながら一人練習をする ・なるべくスピーチメモを見ずにペア・グループ練習をする	<p style="text-align: center;">【話し方】</p> <p style="text-align: center;"><レベル1及び2></p> <p>原稿読みにならないようスピーチメモを工夫させるとともに、チェックリストを活用して練習させ、レベルアップを図る。また、ペア練習時にチェックリストを盛り込んだ「アドバイスカード」を活用する。優れた「話し方」の児童を紹介し参考にさせる</p> <p style="text-align: center;"><レベル3></p> <p>ペア練習時には同じレベルの児童とし、「アドバイスカード」でチェックし合いながら手振りや表情や声の調子などを工夫させ、効果的な資料の提示方法を考えさせる</p>	<p style="text-align: center;">【話し方】</p> <p style="text-align: center;"><レベル3></p> <p>メモをなるべく見ずに、意味のまとまりごとに間をとって話す。必要に応じて資料を提示している</p> <p style="text-align: center;"><レベル4></p> <p>聞き手の反応を見ながら、自然な手振りを交えたり、表情や声の調子を変えたりして話している。資料を提示する場合はタイミングや提示方法を工夫している</p>
	5 めあての振り返りを行う 6 次時の学習内容を知る	・「児童用ルーブリック」で自己評価をさせるとともに、次の学習で気を付けたいことを書かせる ・「5年生の活動報告会」の進め方について確認をし、意欲化を図る	
終 末 10 分			

- (3) 評価 「言葉遣い」「話し方」に気を付けてスピーチ練習をすることができたか

<第7～9時>

- (1) 目標 「5年生の活動報告会」をし、単元の学習を振り返ることができる
 (2) 展開

階	学 習 活 動	支援及び指導上の留意点	ル ー プ リ ッ ク
導 入 7 分	1 学習課題をつかむ		
	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 「話し方」に気をつけて「5年生の活動報告会」をしよう </div>		
展 開 115 分	2 「話し方」についてめあてをもつ	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の自己評価結果をもとにめあてをもたせる 	
	3 「5年生の活動報告会」をする（パフォーマンステスト②） <次第> ①はじめの言葉 ②活動報告 ③4年生の感想発表 ④おわりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・「感想カード」に友達のスピーチの「話し方」に関わるチェックとスピーチで良かった点を記入させ、意欲的に聞くことができるようにさせる ・聞き手の4年生に感想を発表してもらい、振り返りに生かすようにさせる 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">【話し方】</p> <p style="text-align: center;"><レベル3></p> <p style="text-align: center;">メモをなるべく見ずに、意味のまとまりごとに間をとって話す。必要に応じて資料を提示している</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center;"><レベル4></p> <p style="text-align: center;">聞き手の反応を見ながら、自然な手振りを交えたり、表情や声の調子を変えたりして話している。資料を提示する場合はタイミングや提示方法を工夫している</p> </div>
終 末 13 分	4 めあての振り返りを行う	<ul style="list-style-type: none"> ・「児童用ルーブリック」で自己評価をさせる。「感想カード」による相互評価も参考にさせる ・パフォーマンステスト②の評価結果を知らせ、評価項目ごとの進歩の状況について「児童用ルーブリック」で振り返らせる。そして今後の学習でがんばっていきたいことを「ふりかえりコーナー」に書かせる 	<div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="margin: 0;">ルーブリック</p> <p style="margin: 0;">全評価項目</p> </div>
	5 単元の学習を振り返る		

- (3) 評価 「5年生の活動報告会」をし、単元の学習を振り返ることができたか